

道道紋別丸瀬布線 金八トンネル



道東の紋別丸瀬布線にある金八峠は交通の難所であったため、その問題を解決すべく山岳トンネル「金八トンネル」が造られました。これにより旭川紋別自動車道とのアクセスも良くなり、地域経済にもたらす効果は非常に大きく、オホーツク圏の交通ネットワークがさらに充実します。



急勾配、急カーブなど悪条件揃い



網走土木現業所
紋別出張所 所長

村太 弘道 さん

2009年（平成21年）7月27日に供用が開始された道道紋別丸瀬布線金八トンネルは、今後オホーツク圏の活性化に大きく寄与すると期待されています。

紋別市渚滑町国道238号交差点を起点とし、紋別郡遠軽町丸瀬布金山国道333号を

終点とする延長約45kmの紋別丸瀬布線は、1957年（昭和32年）に一般道道として認定され、国道238号と国道333号の短絡路として両国道を補完。オホーツク沿岸と上川エリアを結ぶ地域の重要な道路として利用されています。しかし、以前から

この途中にある約9kmの金八峠の改良が求められてきました。網走土木現業所紋別出張所の村太弘道所長は「金八峠は幅員が僅か4mしかないため、これまで大型車両は通してはならず、しかも、急勾配で砂利道、急カーブもあるため、冬期間は通行止め。近年は路肩の弱い場所もあり、車が安心して走行できるとは言いがたい状況が続いていました。そこで平成13年度から道路改良事業として着手し、橋梁7箇所を含め、中心的構造物である金八トンネルの工事が行われてきました。」と説明します。

トンネルの概要は紋別市上鴻之舞～紋別郡遠軽町丸瀬布金山の区間、延長1752.00mとなり、その長さは道東で6番目。幅員は7mです。



網走土木現業所
紋別出張所 技術係長

鴨川 慎二 さん

工事に携わった同出張所の鴨川慎二技術係長は「工事は紋別から遠軽に向かって掘っていき、平成19年11月に貫通し、引続き覆工やトンネル内の舗装、非常用設備等を行い、平成20年12月にトンネル本体が完成し、供用に至りました。特に困難

を極めた箇所もなく、トンネル工事の場合は事前にボーリング調査をしたとしても、予想外のケースが発生する場合もあり、実際に掘ってみるまで不安は付きものですが、今回はスムーズに工事が進行していったと前任者から報告を受けています。もちろん



金八トンネル掘削工事状況



網走土木現業所
紋別出張所 主任

斉藤 寛巳 さん

安全対策には十分気を配り、事故もなく無事終了しました」と安堵の笑顔。同出張所の斉藤寛巳主任は「トンネルの掘削工法としては、NATM工法で、日本で多く採用されているものです。また、掘削土砂内には一部重金属を含む地質で、その処

理についても十分注意していたと前任者から聞いてます。」と話しています。

アクセス向上で道央圏が近くなる

金八トンネルは様々なメリットをもたらすと考えられており、旭川方面への交通アクセスの充実は大きなポイントとなります。これまでの紋別～丸瀬布間の既存ルートに比べ約3.2km短縮され、国道経由のルートに比べると約17km短縮。浮島トンネルを抜けるのか、それとも金八トンネル経由にするのかと、気象条件などに応じたルート選びができることで、無理のない安全なドライビングが約束されます。また旭川紋別自動車道が平成22年3月末、丸瀬布ICまで開通することで道央圏への利便性も格段にアップ。JR線駅や紋別空港、紋別港などへのつながりも良くなり、観光や物流に良い影響を与えることは明白で、関係者は「待ちに待ったトンネル」と歓迎ムードいっぱいです。

流水や歴史的建造物を楽しむ、観光振興に大きな役割

さらにこの金八トンネルの開通により観光客は増加傾向にあると地元マスコミが取り上げており、国の登録有形文化財である「旧上藻別駅通所」は、これまでにないにぎわいを見せています。旧上藻別駅通所とは、宿や馬を提供し、郵便業務を行う道内に608箇所あった駅通所の一つで、東洋一の金山とうたわれた鴻之舞鉱山の盛衰を知る場所であり、現在は民間史料館になっています。閉山後は人口流出してしまった鴻之舞ですが、それでも当時を懐かしんで訪れる人が後を絶たず、金八トンネルの利用が定番ルートになりそうな勢いです。

ところで、紋別といえば流水観光が地域にとって



網走土木現業所紋別出張所

も大切な資源です。ガリンコ号に乗って、流水の海へ繰り出そうと毎年たくさんの観光客が訪れ、「金八トンネルは観光振興に大きな役割を果たしていくことでしょう。またオホーツクという言葉にはグルメを連想させる響きもあるようですから、わたしたちの仕事がオホーツクの美味しいものを運ぶ、あるいは食べにいらっしゃる方にとって便利なグルメリートの形成に役立ったと思います」と鴨川技術係長。

斉藤主任は「設計の段階から、できるだけコスト削減に務めた点もご報告したいですね。掘るという性格上、汚水の問題には注意を払い、漁業関係者にも十分説明し、トラブル等は起きませんでした。」と話しています。

最後に村太所長は地元の歴史にまつわるエピソードを交えながら「金八峠の金八という名前は、その昔、旧丸瀬布町上げて道路誘致運動をしていた時、地元で働く芸者金八姉さんが誘致に陰の力となって永い間働いた功績から取ったそうです。金八は金が開くにも通じ縁起が良いとされ、道路実現の陰の殊勲者として語り継がれているそうです。また、この名称は地元によく浸透しており愛着があると聞いております。これからは金八トンネルが地域にだけに限らず、オホーツク圏全体の経済にとって金八の名前にあやかり発展していくための重要なファクターになることを願っています。」と、話を締めくくりました。

